

## 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

対 象 第3学年1組 児童21名  
 指導者 松岡 佑樹  
 対 象 第3学年2組 児童22名  
 指導者 肥爪 萌香

### 1 単元名 「羽田安全マップを作ろう！」

### 2 単元の目標

学校周辺や自分の生活地域に関心を持ち、歩いて観察しながら危険な場所を見付け、その特徴を理解して安全マップを作成し、自分たちの安全を守ろうとする。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①集めた情報を比較・分類するなどして、整理している。 ②どのような場所が安全なところであるか理解している。	①身近な生活や体験の中から調べてみたいことを見付けている。 ②理由を明確にして、自分の考えをまとめている。 ③自分の考えや思いをさまざまな表現方法でまとめたり、伝えたりしている。	①学習したことをもとに、町の安全のために自分ができることについて考えを深めている。 ②協働的に課題解決に取り組み、ねらいに向かって粘り強く学習に取り組んでいる。

### 4 単元指導計画

次	時	学習活動	知・技	思・判・表	態
1	1	危険な場所とはどのような場所なのかについて話し合う。	② スプレッドシート ワークシート		
2	2	目的や注意事項など、フィールドワークに必要なことを確認し、準備をする。		① スプレッドシート ワークシート	② 観察
3	3 4	学区の公園を中心にフィールドワークを行う。	② スプレッドシート ワークシート		② 観察
	5	フィールドワークで調べたことをもとに、カードにまとめる。	① カード	② カード	
	6 7	地域安全マップを作成する。		③ スライド	① スライド
	8本時	模擬発表会を行い、1年生に伝わりやすくするためのアドバイスをし合う。		② 観察	
	9	アドバイスを取り入れ、スライドを改善する。			② スライド
4	10	作成した地域安全マップを1年生に発表する。		③ 観察	

5 本時のねらい（第8／10時）

調べたことがより伝わりやすくするための工夫について考え、他のグループに助言したりスライドを修正したりすることができる。

6 本時の展開（1組）

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてと学習の流れを確認する。	
	1年生に伝わるように発表の内容をレベルアップしよう！	
展開	2 伝え合う視点について確認する。	○よかった点やさらに工夫できそうな点を意識して書くよう促すことで、相手にとって分かりやすい発表になるようにする。 【Think】
	3 レベルアップポイントの書き方を確認する。	○観点やレベルアップポイントの書き方例を板書することで、自分に合った表現の仕方を選択できるようにする。 【Select】
	4 前半のグループが模擬発表会を行い、後半のグループがアドバイスを ・もっと言葉を簡単にした方がよい。 ・一言ポイントを短くまとめた方が分かりやすい。 ・写真を大きくした方が見やすい。	○「付箋に書く」「言葉で伝える」「付箋を渡す」という流れで行うことで、確実に相手に意図が伝わるようにする。 【Share】 ○付箋を色分けすることで、アドバイスの種類が、判別しやすいようにする。 「写真」→赤 「一言ポイント」→青 「説明」→黄 【Select】 ○発表者も自分たちで気付いたレベルアップポイントを記入するように言葉をかけることで、自己評価できるようにする。
5 後半のグループが模擬発表を行い、前半のグループがアドバイスを ★理由を明確にして、自分の考えをまとめている。（観察）		
まとめ	6 学習の振り返りをする。	○スプレッドシートを使うことで、ねらいに沿って本時の学習を振り返ることができるようにする。

TSSに関する手立て

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫を考えて伝える方法として、「付箋」を活用し、「よいところ」「工夫できるところ」などの具体的な例を示すようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫「1年生に分かりやすいか」「実現可能か」「効果的か」という3つの基準の中から選ぶようにする。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫 レベルアップを目指したアドバイスを伝える際の話型を提示する。またアドバイスを受けた後の応答の仕方についても指導し、活発な伝え合いになるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫 付箋を分類、整理して必要なアドバイスを選擇できるようにする。

5 本時のねらい（第8／10時）

調べたことがより伝わりやすくするための工夫について考え、他のグループに助言したりスライドの修正をしたりすることができる。

6 本時の展開（2組）

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてと学習の流れを確認する。	
	1年生に伝わるように発表の内容をレベルアップしよう！	
	2 伝え合う視点を確認する。	○相手にとって分かりやすい発表になるよう、良かった点やさらに工夫できそうな点を意識して書くよう促す。 【Think】
	3 レベルアップポイントの書き方を確認する。	○観点やレベルアップポイントの書き方例を板書する。 【Select】
展開	4 前半のグループが模擬発表会を行い、後半のグループがアドバイスを する。 ・写真をもっと見やすいものにした方がよい。 ・1年生にも伝わるように、一言コメントを分かりやすくした方がよい。 ・文字をもう少し大きくして見やすくした方がよい。	○「付箋に書く」「言葉で伝える」「付箋を渡す」という流れで行うことで、確実に相手に意図が伝わるようにする。 【Think】【Share】 ○付箋を色分けすることで、アドバイスの種類が、判別しやすいようにする。 「写真」→赤 「一言ポイント」→青 「説明」→黄 【Select】
	5 後半のグループが模擬発表を行い、前半のグループがアドバイスを する。	★理由を明確にして、自分の考えをまとめている。（観察）
まとめ	6 学習の振り返りを する。	○スプレッドシートを使うことで、ねらいに沿って本時の学習を振り返ることができるようにする。

TSSに関する手立て

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
発表をする相手や、アドバイスの視点を確認することで、考えるポイントを揃え、自分の考えを分かりやすく伝えられるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
「1年生に分かりやすいか」「実現可能か」「効果的か」という3つの基準の中から選ぶようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫  
相手に意見を伝えるときの流れを共通化させることで、自分の意見を整理したり、自信をもって発言したりできるようにする。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫  
作成した安全マップの共有を他のグループと行うことで、他のグループのよさを取り入れたり、受けたアドバイスを参考にしたりして安全マップのレベルアップを図るようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫  
意見の観点を色分けすることで、後でスライドを作り直すときに、必要なアドバイスを選択することができるようにする。